

- ◇私立幼稚園園児を募集2面
- ◇南海トラフ巨大地震の新浸水想定図を公表3面
- ◇税務署以外で平成25年分確定申告会場開設4面
- ◇西宮国際交流デーを開催5面
- ◇スポーツの力で西宮を元気に！シンポジウム7面
- ◇保健だより8面

●発行(毎月10・25日) / 西宮市役所: 〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798-35-3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>
 ●編集/政策局市長室広報課 ☎0798-35-3400 ✉vo_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



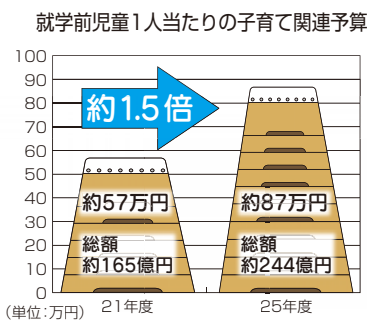
全力で子どもたちの成長サポート

核家族化の進行や女性の社会進出などの社会情勢の変化により、子育てに関するニーズが高まっています。市は、子育て家庭を支え、次代を担う子どもたちが健やかに成長できるように、子育てにやさしいまちづくりを進めています。今号では、これまでの取り組みと今後の方向性についてお知らせします。

子育てするなら西宮

子育て環境の充実に注力

本市では、平成17年に「西宮市次世代育成支援行動計画」を策定し、安心して育てる子どもを生み、健やかに育てる総合的な子育て環境の充実に取り組んできました。



就学前児童1人当たりの子育て支援に係る予算(右グラフ参照)をここ5年間で約1.5倍に増やし、認可保育所の整備などにより待機児童の解消を図るとともに、幼稚園での保護者負担の公私間格差是正などに積極的に取り組んできました。

子どもの発達に手厚い支援を

児童発達支援センター等施設を整備
西宮市立わかば園と西宮市スクーリングサポートセンターを複合化し、子どもの発達過程で生じるさまざまな課題に対応するための中核施設として、高畑町に「児童発達支援センター等施設」を平成27年夏に開設します。

保育サービスを充実

保育士の配置基準等の向上
本市では、保育所の児童数に対する保育士を国基準よりも手厚く配置しています。

また、他の自治体に先駆けて、全ての小・中学校での完全給食の実施や、乳児等・子ども医療費助成の中学3年生までの一部負担金の無料化などを行いました。

幼稚園への就園大きく支援

私立幼稚園への就園奨励助成金を増額(☆)
幼稚園における保護者負担の公私間格差を是正するため、本市では私立幼稚園に通う園児の保護者を対象とした就園奨励助成金を交付しており、平成23年度から3年間で約4億円を増額してきました。

休日保育を実施

生活が困難な小学3年生までの児童を一時的に預かっています。

一時預かり

市内14カ所の保育所で在園児以外の児童を対象に、時間単位などで預かり保育を実施しています。

また、家庭や地域を取り巻く環境の変化に的確に対応し、子育て支援を効果的、総合的に推進していくため、今年4月には「こども支援局」を新設します。併せて、新制度への円滑な移行のための体制の強化を図ります。

完成イメージ



新施設は5階建て、面積は約4200平方メートルになります

問合せ先

子育て企画課(0798-35-3121)、☆印の記事は、学事・学校改革課(0798-35-3000)

今後の取り組み

「こども支援局」新設

新制度の施行に向けて、本市では、昨年8月に設置した「西宮市子ども・子育て会議」での審議や昨年11月に実施の「西宮市子ども・子育て支援事業計画作成のためのアンケート調査」の結果など、子育て中の皆さんのニーズを踏まえ、「西宮市子ども・子育て支援事業計画(仮称)」の策定に取り組んでいます。

また、家庭や地域を取り巻く環境の変化に的確に対応し、子育て支援を効果的、総合的に推進していくため、今年4月には「こども支援局」を新設します。併せて、新制度への円滑な移行のための体制の強化を図ります。

今後も、多様化する子育てニーズに柔軟に対応しながら、「子育てするなら西宮」を理念とした、さまざまな子育て支援事業に取り組んでいきます。

◀ 2面で引き続き、子育て支援事業など紹介